

「モニターの皆様からのご意見・ご感想」 集計結果

「議会だよりNo.145」（令和2年10月発行）

回答者7名中6名

評価 A：とても良い B：まあまあ良い C：普通 D：あまり良くない E：良くない

項目No.1 【表紙（1ページ）】

評価（人数）	A（2）	B（1）	C（3）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

写真はとても良いと思いますが、どこがどう変貌したのかわかりません。

【回答：議会だより編集委員会】

町一番の水田地帯が産業用地になりました。比較できる写真が準備できれば良かったと思います。

どのように変貌したのか、過去の写真と比べるとわかりやすいと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

過去の写真が準備できれば良かったと思います。「読み手に知らせたいことは何か」の意図に沿った写真選定に努めてまいります。

下市田河原は新しい企業の誘致が盛んな地区として近くを通る度に気になっていましたが、このドローンの写真は現状が分かりやすく、表紙としてはインパクトがあって良いと感じました。上流からの写真は小さくて見にくいので、無くても良い気がします。

【回答：議会だより編集委員会】

下市田河原の変貌を俯瞰できるようにドローンの写真を企画しました。上流からの写真は必要がなかったかもしれません。

モニター制度のスタートにより 様々な意見を取り入れての改革への努力が感じられます。以後の各号に動きが出てきました。No.145表紙自体にニュース（知りたいこと）があり目的とした使命が感じられました。

【回答：議会だより編集委員会】

「表紙自体にニュース（知りたいこと）があり目的とした使命」とのご意見は、表紙を検討するうえでとても参考になります。今後も表紙について研究してまいります。

普段利用している道路や開発による町の変化を上空から確認できるのは貴重なことです。時々このような写真を掲載して頂きたいです。

【回答：議会だより編集委員会】

今後もテーマに沿った写真選定に努めてまいります。

昔と今の写真で見比べられると面白いかなと思った。

【回答：議会だより編集委員会】

他のモニターさんからも同様のご意見をいただきました。今後この種の写真については、視覚で変化が認識できる「昔」と「今」の比較写真を掲載するなどの配慮をまいります。

※「特になし」の人数；(0人)

項目No.2 【9月定例会（2～5ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（2）	C（1）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

A：決算のグラフを見ても、良い悪いの判断はまったくわかりませんが、健全化4指標の改善数値はわかりやすいです。

基金と町債のグラフも、理解しやすいです。

B：5P 産業課の熱中小学校にかかわる人件費はともかく、まったく稼働していない熱中通販サイトの構築委託料に900万円もかかっているのは納得がいきません。これだけの費用をかけて、どれだけの利益が得られるのでしょうか？ これを議会が承認した理由を教えてください。

Aについて【回答：議会だより編集委員会】

今後も、町民の皆様にも、審議の内容がわかるような記事を工夫してまいります。

Bについて【回答：産業建設委員会】

熱中小学校の活性化と、今後補助金が削減された時の資金確保のためにサイト開設を承認しました。議会としても、早く有効活用されるよう注視してまいります。

4～5pの下段「決算審査全体会 令和元年度……9月11日」の記事が掲載されていましたが、中央見開き部分で記事が途切れて読みにくいと感じました。

【回答：議会だより編集委員会】

ご指摘いただきましたように「読みにくかった」と反省しております。ご意見を次の編集に生かしてまいります。

歳入でふるさと寄付金が減っているのは残念ですが、結果として町債が減っていることはそれぞれの皆さんが努力されている結果なのだと感じました。

分科会の質疑内容も分かりやすくて良いと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

今後も質疑内容をわかりやすく編集してまいります。

A：決算審査会での議員の役割は大きなものがあると思います。町民にかわって可決した予算の執行が適切に（目的通り）なされたか、予算、決算の審議と共に一大使命です。

B：その点、各課からの集中的な審議内容が記載されており、当面の課題や次年度への取り組みの方向が見えてきてよかった。（令和3年度予算へ）

Aについて【回答：議長】

ご意見のとおり予算審査・決算審査は議会の重要な審査(承認)の一つです。審査特別委員会では、承認した予算が適切に執行されたか、町民益になったのか、改善することはあるか等慎重に審査しております。

Bについて【回答：議会だより編集委員会】

今後も審査内容を多く載せて、町民にわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。

会計の決算認定内容が端的でわかりやすいと思います。財政状況も一目瞭然で確認することができました。町長への質問・回答は今後もっと多く載せてほしいです。

【回答：議会だより編集委員会】

町長への質問があった場合には、その内容等を記載するように心がけてまいります。

予算の関係は見やすく分かりやすいように感じる。

審議内容については他にもあると思うが、もう少しページがあってもよいのでは？

【回答：議会だより編集委員会】

今後も限られたページの中で、審議内容等をどの様に伝えるか、検討してまいります。

※「特になし」の人数；(0人)

項目No.3 【まちづくプラン評価（6ページ）】

評価（人数）	A（ ）	B（2）	C（1）	D（1）	E（ ）	無評価（2）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

政策Gの回答 2行目の「様々な周知の中でもご案内をしている。」という文の意味が分かりません。要約の仕方のせいか、実際の回答通りなのか……たくさんの質疑・意見の中から選ぶのであれば、もう少し納得のいくものを載せたほうがよいと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

読者にわかりやすい文章表現、わかりやすい記事になるよう心がけてまいります。

目を通して思ったのは、無理やり1ページに収めた感じがする。まちづくりプランの評価であれば質疑は当然多いはずなので、もっと紙面を割いても良かったのでは。

【回答：議会だより編集委員会】

ご指摘いただきましたように無理やり感が否めません。紙面の関係もありますが、できるだけ記載するようにします。

政策 B <教育面について>

- ① 新年度からスタートがコロナ禍によって学習面（学力差、学習のおくれなど）に大きな課題を抱えている。これに対応する学校や家庭の現状は苦しいと思う。（教師の勤務状態、家庭における対応、学力差）
- ② こうした課題に対する共助のあり方（コミュニティスクール、ボランティア）が大きく必要とされている。直今の問題として具体的な手立てが必要だ。

【回答：総務民生委員会】

学力差、学習の遅れの件は、常に問題とされています。現在、教育委員会（行政）ではコミュニティスクール、ボランティアに協力を得て対応していますが、状況によってはさらなる対応が必要と考えます。

回答に併せてそれぞれに今後の課題と対策も詳しく知りたいです。

【回答：議会だより編集委員会】

審議の中で出された課題と対策は、できるだけ記載するようにします。

※「特になし」の人数；（2人）

項目No. 4 【コロナ関連予算（7ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（2）	C（1）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

県外の学生への応援は、とてもいいと思います。

【回答：総務民生委員】

今後も状況によっては、議会としても必要な支援を考えてまいります。

A：コロナ対策費も第3段となり総額も19億円を超えるとのこと、コロナ感染症によりこの1年間が大変な年になってしまったことを改めて感じさせられます。

B：ふくまるポイントシステムが開始されましたが、現在の普及状況と効果はいかがでしょうか？

Aについて【回答：議長】

ご感想ありがとうございます。

この1年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、私たちの暮らしは大きく変化し、

地域経済にも深刻な影響が生じました。議会としましては、町民の生活と健康を守るため、二元代表制の一翼を担う議会の監視機能を果たしつつ、町長と協力しながら、この危機的状況に全力を挙げて取り組んでまいります。

Bについて【回答：産業建設委員会】

11月末現在、町内581世帯、1,368枚のカード普及となっており、まだまだ普及の余地はあると考えます。使用によるメリットや特典の宣伝をするなど、より以上の利用促進を商工会に働きかけてまいります。

＜教育問題＞授業時間不足や行事縮小等により子どもの学力不足は深刻で各人の学力差が大きくなっている。これを補うためのICT教育の導入（タブレット1人1台）ボランティアの学習補助など、3学期を待たずに実行に取り組む必要。

【回答：総務民生委員会】

教育委員会では、12月末までに児童、生徒に一人一台のタブレット導入します。また、中学校では放課後を利用した学習の場として地域ボランティアの皆様による「小原が丘塾」を実施しています。今後もコロナ禍であっても学びが継続されるよう取り組みます。

議会では令和3年度予算へICT指導員の配置を提言しました。

感染拡大防止に国・県が費やした金額に、あらためて新型コロナウイルスに対し脅威を感じます。

感染拡大防止に国・県が費やした金額に、あらためて新型コロナウイルスに対し脅威を感じます。

【回答：議長】

令和2年は新型コロナウイルス感染症のまん延から日本中が災いに巻き込まれ、町でも町民生活をはじめ経済活動まで大打撃を受けております。町民生活の支援に向け、議会も心優しい判断と素早い対応をしております。

また、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、元どおりの生活ができるよう願っております。

※「特になし」の人数；(2人)

項目No.5 【条例・請願・賛否・補正（8～9ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（3）	C（ ）	D（ ）	E（ ）	無評価（ ）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

請願になぜ辺野古新基地建設工事の件を取り上げたのでしょうか。福島原発処理の件を

始めとして国内ではいろいろな問題があるにも関わらず、とても違和感を覚えます。

【回答：議長】

請願権は、憲法第 16 条で国民の基本的権利の一つとして保障されています。議員の紹介により、だれでも議会に提出することができます。議会は、提出された請願を採択するか否かを慎重に審議します。

「請願・意見書の議員の賛否公開」の中で不採択だったものに対する反対意見、賛成意見をそれぞれ示したのはわかりやすくよかったと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

これからも賛否の討論があったものは、要旨を掲載します。

今回から全員賛成の決議を○×から内容表記にしてありますが、見やすく良いと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

本号から、この方式を取り入れました。

前号に提案しましたが、本号での議決結果の記載報告は大変に具体的な内容が判り良かった。(前号までに見られない) 議員一人一人は町民の代表としての立場からも議決結果は今後の運営、報告に当たり方向を定めるものとして明確でした。

【回答：議会だより編集委員会】

モニターの皆さんのご意見がなければこのような形にはなりませんでした。ありがとうございます。

今回、それぞれの条例の結果内容の補足説明があり、わかりやすく良いと思いました。

請願・意見書の賛否意見の相違も、それぞれに関心を持ちました。

【回答：議会だより編集委員会】

条例については今回の様式を踏襲して内容の補足説明を記載します。請願・意見書については賛否の討論が行われたものは要旨を掲載してまいります。

分かりやすく又議員さんの賛否公開があり更に意見が載っているのも良い。

【回答：議会だより編集委員会】

「賛否一覧」につきましては、他市町村の「議会だより」を参考に改善に向け、模索しながら取り組んできました。気になる点がございましたら、遠慮なくご指摘ください。

※「特になし」の人数；(0人)

項目No.6 【一般質問（9～18ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（2）	C（1）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

18 p 自治会加入・未加入による避難行動や支え合いの支障がなくなる方策～ に関して、町長の発言に異議があります。

災害発生時等の避難について、自治会への加入・未加入になどを一切意識しないようにとのことですが、現実的な話ではないと思います。当番で区民会館などの掃除などを行っている加入者からすれば、普段何もしない、防災訓練にも出てこない未加入者を快く受け入れるはずがありません。コロナ災禍とともに、普段の生活そのものが今までのやり方では通用しない時代になってきました。これを機に今までの自治会制度を見直し、災害時に町民全員が協力し合えるような新しい組織づくりを考えてほしいものです。

自治会の維持には限界がきています。もっと現実に目を向けて対策を立てるべき時だと思います。

【回答：林議員】

ご意見ありがとうございます。今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

どのページにも、内容に関係のある写真や図が載せられていてわかりやすかったです。

【回答：議会だより編集委員会】

一般質問のページはマニュアルがあり、各議員が質問の内容を伝えるよう努力しています。

行政手続き等のデジタル化ですが、今後ますます加速していくと考えられます。全国的に進んでいくデジタル化に遅れをとらぬよう、あるいは先を行くようなアイデアで高森町をアピールできたら更なる活性化が期待できます。

【回答：宮下議員】

デジタル社会とは生活が便利で豊かになったと実感できる社会です。

引っ越しを例にとりますと、私達は転居の際自治体の窓口に出し届を提出し、そこで発行された転出証明書とともに、今度は引っ越し先の自治体の窓口で並んで転入届を提出します。この時、本人確認書類と印鑑は必須。続いて、電気、ガス、上下水道、銀行等、気がめいるような書類作成と手続きの連続です。一連の手続きがデジタル化されると、手元のスマートフォンで完結できるようになります。スマートフォンを持っていない方や、不慣れな方はどうすればいいでしょうか。実は「誰一人取り残されない」デジタル社会の実現には、自治体の職員が必要に応じてオンライン申請を支援するなど、窓口サービスを充実させる視点が欠かせません。

A：○宮下浩二議員（p16）

国を挙げての I C T の時代の機会をとらえて積極的な取り組みを要望したい。議会におけるタブレット導入も近隣町村に先だって取り入れたことを先例に

①教育面への I C T を取り入れて学習活動を取り入れて欲しい。そのために、教職員の研修・施設充実 I C T 黒板設定・タブレット 1 人 1 台の確保など（飯田市では実行しているようだが）コロナ禍による様々な教育面や学力向上の必要性。

自助、共助、公助とまさに先行した公助の先見性が望まれます。

B : <全般的に> 行政からの回答が「今後において積極的に推進したい」に終わっている。その内容に具体性が見られないのは残念。その点を追加質問で追及して行って欲しい。

A については【回答：宮下議員】

町では、12 月までに全児童・生徒にタブレットを配布し、全普通教室に電子黒板を導入します。タブレット、電子黒板、書画カメラ、教材のデータ化など I C T 機器の有効活用により、わかりやすい教科授業のほか、コロナ禍にも対応できるよう遠隔授業が実施されます。

B については【回答：議長】

議員が一般質問したことに町がその後どう対応したか、実現できたのか、対応が不十分であれば再度質問をしています。ご意見について、今後、さらに追加質問ができるよう心がけてまいります。

町民の生活のために重要な事案を提示・質問してくださって感謝します。

A : 子どもの社会教育の第一歩は幼児教育だと思います。環境と指導の向上を今後も期待します。

B : 介護福祉事業については、健康年齢を上げるための提案もお願いします。

C : 災害時対策については、防災の日の訓練をもっと充実したものにする必要があります。地域によっては集まって点呼をとるだけになってしまっています。町が中心になり、あらためて訓練内容の思案が必要だと思います。

A については【回答：原議員】

「環境と指導の向上」の為に、保育士のなり手が増えるような労働環境の整備を求めていきたいと思います。

B については【回答：小平芳議員】

壮年期から健康年齢を実年齢より若く保つことは、健康寿命を平均寿命に近づけることにつながり、社会福祉事業分野のみならず、社会全体にとっても重要なことだと考えています。効果的な政策に結びつくような提案をしてまいります。

B については【回答：北沢議員】

健康年齢（健康寿命）は第 7 次まちづくりプラン：D 健康の実現の基本方針で、「町民が自

らの健康状態を知り、健康づくりをするための情報を得られることをめざします」としています。議会としても、これに関する成果指標をチェックしていきます。また、一般質問や総務民生委員会などでもその重要性がたびたび取り上げられています。

Cについては【回答：三浦議員】

防災訓練の内容については、自主防災会（各地域・自治会・区）に任せているのが現実のようです。今年は密を避けるということで安否確認だけといった地域もあったようです。全国で起こった災害の教訓から学ぶ訓練を、町から積極的に指示するなど、防災訓練の内容について研究する必要があると思います。

防災に触れている質問があるが、町が町民1人1人に少しずつでも良いので意識をもってもらえる町づくりが出来ていく事を期待したい。

【回答：林議員】

ご意見ありがとうございます。今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

【回答：三浦議員】

いつ起こるかわからない気象災害に対して、防災・減災は私たちが生活していくうえで、次の世代のことも考えていかなければならない課題です。自分と大切なひとを守るために、一人ひとりが防災・減災の意識高揚を図ることが原点だと思います。私自身が防災リーダーになるという意識をもって、提案していきたいと思います。

※「特になし」の人数；(0人)

項目No.7 【議会のうごき（19ページ）】

評価（人数）	A（1）	B（1）	C（3）	D（1）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

「議会のうごき」というタイトルと内容が合っていないように思います。

【回答：議会だより編集委員会】

議会が行った行事や、議会として参加した研修会・総会・勉強会・各種団体との会議などのうち、主だったものの内容を「議会のうごき」で報告しています。

町のTV放送で「議会だより」を拝見しているが

・各会合や出張での研修報告などが内容となっている。それらの会合や、研修など大変な活動にご苦労様です。そうして得られたものを更に議員のお力としてご努力願いたい。

【回答：議長】

ご意見のとおり、研修に参加するのが目的ではなく、研修してきたことを町政にどう生かす

かが大切です。

議会だよりの記事編集に於いて、私たちモニターの提案を生かしてくださっているところもあり嬉しく思います。議員の方々の仕事や意見を文章にするのはどうしても硬くなってしまいますが今後もわかりやすく伝えていただきたいと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

「専門用語」や「一般的でない言葉」については、できるだけ注釈をつけるようにしています。これからも、「町民の皆様が読者である」ことを意識して、読みやすくわかりやすい文章で書くように努めてまいります。

※「特になし」の人数；(3人)

項目No.8 【委員会から報告します・追跡（20～21ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（2）	C（1）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

たかもり温泉の記事ですが、コロナ過で厳しい経営状況になっていると想像していました。今回の委員会の報告で、経営に関係した皆さんがかなりの努力をされていることが伝わりました。自分も年1～2回しか利用していませんので、町民としてもっと利用したり周囲にアナウンスしたりできるように心がけたい。

【回答：産業建設委員会】

たかもり温泉や町ももっとアピールするように、議会から要請してまいります。

委員会報告の不足を感じていましたが、今号での産業委員会での「たかもり温泉」の内容はよかった。新体制（理事長移動）により内容面に新しさが見えてきています。利用する側に立っての改革が有難い。

【回答：議会だより編集委員会】

町民の皆様の関心の高い町政の課題などをできるだけ誌面でお伝えしてまいります。

記事内容は私たちの関心のあるものでしたが、認定こども園のイメージ図が小さくて見づらいです。

【回答：議会だより編集委員会】

限られたスペースに詳しく伝えようとして、小さな図になってしまいました。1枚に絞り込むことも検討すべきでした。

※「特になし」の人数；(3人)

項目No.9 【裏表紙（22ページ）】

評価（人数）	A（3）	B（2）	C（1）	D（ ）	E（ ）	無評価（0）
--------	------	------	------	------	------	--------

○ご意見・ご感想

編集作業、お疲れ様です。

様々な意見を取り上げるのは大変かと思いますが、どういう考えでそうしたかの意思表示が一番大事かと思えます。ちゃんとした理由があれば、お互い理解できるはずです。ぜひ、議員さんの基本的な考え方や、方向性がわかる内容を希望いたします。

【回答：議会だより編集委員会】

編集の方向性や意図などを「編集後記」で表現できるように検討してまいります。また、各ページの記事の中でも、それらを読み取っていただけるように努力してまいります。

みんなの声、お二人とも高森町の良さに改めて気づかせてくれるような素晴らしい意見でした。

【回答：議会だより編集委員会】

「みんなの声」は、多方面から町づくりに対する考えを知るコーナーとなっています。

議会だよりをまとめた（しめくくった）内容で編集されており好感がもてました。モニターよりの提言も多岐にわたっており、それを少しでも反映されているご努力に感謝です。

【回答：議会だより編集委員会】

引き続きモニターさんのご意見・要望を参考にしながら、より良い紙面になるよう努めてまいります。

高森在住の方の手記と編集後記などで暖かさを感じます。

【回答：議会だより編集委員会】

投稿いただく町民の皆様に感謝しています。

※「特になし」の人数；（2人）

項目No.10 【議会だよりで扱って欲しい内容

・必要としない記事はありましたか】

○ABC評価 項目なし

○ご意見・ご感想

以前より、読みやすくなっていると思います。財政などは基本的知識がないと、それがいいか悪いかの判断すらわかりません。どの部分をみるのが大事なのか、ポイントを教えて

くれるとありがたいです。

また、議員の成り手がいないといわれる今、次の議員さんを育てる意味でも議会の仕組みを詳しく解説してくれるコーナーがあるといいと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

「財政のことをどうわかりやすく伝えるか」は、難しい課題です。読者にポイントがわかるような編集を心がけてまいります。「議会の仕組みの解説」については検討していきたいと思えます。

余り幅広く盛りだくさんだと内容も薄くなります。今の内容で充実されていくことこそ大事だと思います。

【回答：議会だより編集委員会】

発行時期（3月議会：予算、9月議会：決算など）によって紙面のボリュームは異なります。今後も内容が充実するような紙面づくりに努めてまいります。

※「特になし」の人数；（4人）

項目No. 1 1 【その他、議会活動・議員活動に関わること】

○ABC評価 項目なし

○ご意見・ご感想

A「議員さんは議会以外に何をしているの？」と聞かれました。「議会だよりを読んでね。」と答えておきましたが、B 議員さんのふだんの仕事がわかるような記事をお願いします。

Aについては【回答：議長】

研修会や講演会に参加し、個々の資質向上に努めたり、町民との対話を通じ暮らしやすい環境を整えるための課題について意見交換や調査など、幅広い活動をしております。

Bについては【回答：議会だより編集委員会】

「議会のうごき」と「委員会から報告します」の2つのコーナーを設けております。「議会だより」全体の構成を検討しながらご要望に応えるように努力してまいります。

※「特になし」の人数；（5人）